

2025年度

(第15事業年度)

事業報告書

2025年 1月 1日から

2025年 12月 31日まで

公益財団法人三島海雲記念財団

2025 年度事業報告及び附属明細書

1. 2025 年度事業報告

2025 年度は、定款に定める公益目的事業（学術研究奨励事業）に基づき、助成事業として第 63 回「学術研究奨励金」及び「学術活動支援」並びに、新たに開始した第 1 回「特定研究助成金」を、褒賞事業として第 14 回「三島海雲学術賞」の各事業を行いました。

1. 助成事業

① 学術研究奨励金事業（助成）

本事業は自然科学と人文科学の学術研究において、将来の発展が期待できる優れた研究を支援することを目的としています。また、若手研究者及び女性研究者の積極的応募を期待します。

1) 対象とする学術研究分野

- (イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する学術研究
「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究
- (ロ) 人文科学部門 : アジアに関する人文社会科学諸分野の学術研究(日本に関わる研究も助成対象とします。)

2) 助成の種類と内容

学術研究奨励金は、「個人研究奨励金」と「共同研究奨励金」の 2 種類とします。

(A) 個人研究奨励金

個人研究を対象とし、応募する研究者個人に対する助成金ですが、共同研究者のあることを妨げません。

助成金額：1 件当り 100 万円

助成期間：原則として 1 年間（2025 年 7 月～2026 年 6 月）

(B) 共同研究奨励金

複数の研究機関又は異なる部局の研究者が、共通の課題について、共同して行う研究を対象とし、共同研究グループに対する助成金です。

助成金額：1 件当り 200 万円～500 万円

助成期間：原則として 1 年間（2025 年 7 月～2026 年 6 月）

3) 応募資格

(A) 個人研究奨励金

- (1) 日本在住の研究者（国籍は問いません）及び海外在住の日本人研究者
- (2) 上記の研究者には、大学院博士後期課程在籍者（及びそれに相当する大学院生）を含みますが、大学院博士前期課程（修士課程）在籍者は応募対象外となります。
- (3) 自然科学部門：45 歳未満（2025 年 4 月 1 日現在）の研究者。ただし、以下の場合は 45 歳以上であっても応募可能です。
 - ・大学院博士後期課程在籍者
 - ・博士の学位取得後 8 年未満の研究者（博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業の期間を除くと博士の学位取得後 8 年未満となる者を含みません。）

人文科学部門：年齢制限は有りません。

(B) 共同研究奨励金

(1) 代表研究者が応募してください。

代表研究者は、複数の研究機関又は異なる部局の研究者が、共通の課題について、共同して行う研究組織を代表し、計画の推進、取りまとめ等に責任を持つ者となります。

(2) 代表研究者は国内の大学、研究機関に所属することとします。共同研究者の国籍、所属研究機関の所在地(海外も可)を問いません。

(3) 年齢制限はありません。ただし、代表及び共同研究者には大学院博士後期課程在籍者(及びそれに相当する大学院学生)は含みますが、大学院博士前期課程(修士課程)在籍者は対象外です。

(4) 共同研究者の内1名は、代表研究者と異なる外部研究機関あるいは部局に所属していることを必要とします。

(5) 原則として、分担研究費が100万円以上の共同研究者が一人以上加わることを必要とします。

4) 推薦者

(1) 所属機関の部局長(所属長)、または、これに準ずる方の推薦を必要とします。

①大学：学部長、大学院研究科長又は研究所長(単科大学の場合は学長)

②公立研究所及び民間を除く研究機関の長

③大学院学生の場合は指導教員も可とします。

(2) 「個人研究奨励金」の推薦者は複数の推薦を可とします。

「共同研究奨励金」の推薦件数は一推薦者につき1件とします。

5) 応募方法

当財団ホームページのWebシステム(研究助成申請システム)で応募してください。

6) 応募受付期間

2025年1月10日～2月28日

7) 選考方法

学術委員からなる選考委員会の選考を経て理事会で決定しました。

8) 奨励金の採択結果

(A) 「個人研究奨励金」

() 内前年度

①応募件数 自然科学部門 190件(182)、人文科学部門 192件(153)、計 382件(335)

②採択件数 自然科学部門 39件(43)、人文科学部門 40件(34)、計 79件(77)

(採択率 21%)

※女性及び大学院生の構成比：自然科学部門 応募 39%、採択 44%

人文科学部門 応募 73%、採択 78%

③贈呈金額 1件当たり 100万円、総額 7,900万円

④助成期間 原則として、7月から翌年6月の1年間

(B) 「共同研究奨励金」

() 内前年度

①応募件数 自然科学部門 62件(48)、人文科学部門 36件(24)、計 98件(72)

②採択件数 自然科学部門 8件(8)、人文科学部門 4件(5) 計 12件(13) (採択率 12%)

③贈呈金額 1件あたり 490～500万円、総額 5,984万円

④助成期間 原則として、7月から翌年6月の1年間

9) 選考結果の通知

6月中旬までに申請者宛に通知しました。

10) 助成金の贈呈

10月内に申請者及び共同研究奨励金の分担研究者が指定する口座に一括交付しました。

また、贈呈式を7月4日に東京會館にて執り行いました。

② 学術活動支援事業（助成）

本事業は、大学、研究機関、学会などが主催する特定テーマの比較的小規模で国際的なセミナー、シンポジウム、講演会、研修会などの学術活動に対して支援するものです。

1) 対象学術活動

- (イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する学術活動
「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究
- (ロ) 人文科学部門 : アジアに関する人文社会科学諸分野の学術研究(日本に関わる研究の学術活動も助成対象とします。)

国内で開催される海外からの参加者を含む国際的な上記学術活動で、クローズドな活動でなく外部／新たな参加者を認めるもの。

なお、学術集会のうち定例的な年会や季会、および、大きな大会の一部として開催される分科会や地方支部の学術集会は原則として対象外とします。

また、同一の学術活動への助成は年度内に1回だけとします。

2) 応募資格者

学術活動の責任者又は主催者

なお、当財団の関係者は原則として対象外とします。

3) 助成金額

(イ) 1件50万円を上限。活動等の規模等に応じて当財団が助成額を決定。

(ロ) 用途は、学術活動の準備・運営に掛かる一切の費用

なお、応募状況、審議の結果、該当者なしの場合もあります。

4) 応募方法

財団所定の申請書（Word版、財団ホームページから入手可）に必要事項を記入の上、申請書及び補足資料（趣意書、開催案内等）のファイルを事務局宛にメール送信してください。

5) 申請受付期間

I期：受付2～4月、採否通知7月上旬（2025年7月以降の学術活動が対象です。）

II期：受付8～10月、採否通知1月上旬（2026年1月以降の学術活動が対象です。）

6) 選考

(イ) 採択は、学術委員から意見聴取の上、理事会で2025年度支給分の2024年II期および2025年I期について決定しました。

(ロ) 選考基準として以下を考慮します。

- ① 当財団の事業目的に沿ったもの
- ② 国際的な活動で、学術性が高いもの
- ③ 小規模・予算が少ないもので、国や企業等の補助や助成を得にくいもの
- ④ 若手や海外からの参加者が多いもの

7) 採択結果（2025年度支給分）

2024年II期 応募3件 採択3件（人文科学3件）支給額150万円

2025年I期 応募9件 採択4件（自然科学2件、人文科学2件）支給額200万円

※2025年度II期は選考期間の関係で2026年度の支給対象

8) 選考結果の通知

書面にて学術活動の責任者又は主催者に通知しました。

③ 特定研究助成金事業（助成）

本事業は、人文社会科学と自然科学の学術領域において、特に「食の未来と人間社会」に関わる優れた学術研究を支援します。

1) 対象とする学術研究分野

「食の未来と人間社会」に関わる学術研究を対象とします。現時点で着手している研究も含まれます。

2) 助成の種類と内容

(1)種類 (A)「萌芽研究助成金」と(B)「創成研究助成金」の2種類とします。

(2)内容

(A) 萌芽研究助成金

人文社会科学及び自然科学の研究者各1名以上を含む最大3名までの共同で活動するチームによる探索的、挑戦的研究の試みに対する助成金です。

助成金額：1件当たり年間100万円以下

助成期間：1から2年間（7月から翌年6月を1年間）

1年毎に進捗を確認し、継続の可否を判断します。

(B) 創成研究助成金

人文社会科学及び自然科学の両分野の研究者が共同の組織で行う独創的、先駆的研究に対する助成金です。

助成金額：1件当たり年間500万円以下

助成期間：1から3年間（7月から翌年6月を1年間）

1年毎に進捗を確認し、継続の可否を判断します。

3) 応募資格

(1) 各助成金の応募は代表研究者が行ってください。

代表研究者は、人文社会科学及び自然科学の両分野の複数の研究者が共通の課題について行う共同研究を統括し、計画の推進、取りまとめ等に責任を持つ者とします。

(2) 代表研究者は国内の大学、研究機関に所属することとし、大学院博士後期課程在籍者（及びそれに相当する大学院学生）も代表研究者の対象としますが、大学院博士前期課程（修士課程）及び学士課程在籍者は対象外です。

(3) 共同研究者は国籍、所属（海外も可）を問いませんが、営利目的の企業や団体に所属している方は除きます。

(4) 「創成研究助成金」では、原則として、分担研究費が100万円以上の共同研究者が1名以上必要です。

4) 応募期間 2025年1月15日～3月7日

5) 選考

当財団の学術委員からなる選考委員会の選考を経て、理事会で決定しました。

6) 採択結果

(A) 「萌芽研究助成金」

応募・採択件数：応募13件 採択5件（採択率39%）

贈呈金額：1件当たり100万円、総額500万円（2025年7月～2026年6月分）

(B) 「創成研究助成金」

応募・採択件数：応募21件 採択2件（採択率10%）

贈呈金額：1件当たり500万円、総額1,000万円（2025年7月～2026年6月分）

7) 選考結果の通知

6月中旬までに申請者宛に通知しました。

8) 助成金の贈呈

9月内に申請者及び共同研究奨励金の分担研究者が指定する口座に一括交付しました。
また、贈呈式を7月4日に東京會館にて執り行いました。

2. 褒賞事業

① 三島海雲学術賞事業（褒賞）

本賞は、自然科学及び人文科学の学術研究領域において、とりわけ、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援してゆくことを目的としています。

1) 対象分野

(イ) 自然科学部門 : 食の科学に関する研究

「食の科学」に関する学術とは、食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究

(ロ) 人文科学部門 : アジアに関する人文社会科学諸分野の学術研究（日本に関わる研究も対象とします。）

2) 候補者の資格

国内外の学術誌等に公表された論文、著書、その他の研究業績により独創的で発展性のある顕著な業績を挙げている者のうち、下記の条件を満たす若手研究者。

(イ) 45歳未満の者（2025年4月1日現在）

(ロ) 人文科学部門は、2022年8月から2024年9月に刊行された著書（単著）を有する者

(ハ) 日本在住の研究者（国籍は問いません）及び海外在住の日本人研究者（日本国籍を有するもの）

なお、候補者の再度の推薦は可とします。

3) 推薦者

(イ) 本賞の対象分野に関わる学会及び大学等研究機関(部局)の代表者

(ロ) 本賞の対象分野に関わる出版社の部門代表者

(ハ) 本財団の理事並びに評議員（但し、選考委員を除く）

なお、1推薦者につき2件以内の推薦を可とします。

4) 推薦期間

2024年8月1日～同年9月30日（当日の消印有効）

5) 選考方法

学術委員からなる選考委員会の選考を経て理事会で決定しました。

6) 受賞者の決定

①応募件数 自然科学部門 11件(19)、人文科学部門 21件(24)、計 32件(43) ()内前年度

②受賞者数 自然科学部門 2名、人文科学部門 1名 計 3名

③贈呈金額 1名あたり 300万円、総額 900万円

7) 結果の通知

採否の結果は、2025年4月中旬までに候補者及び推薦者に通知しました。

8) 贈呈式

7月4日に東京會館にて贈呈式及び受賞講演会を執り行いました。

2025年度学術研究奨励金及び褒賞事業等実績および累計実績（1963(S38)年～2025(R7)年）

事業	部門	2025年度（当年度）		累計		備考	
		件数	贈呈金額	件数	贈呈金額		
(1)三島海雲学術賞（褒賞）	自然科学部門	2件	600万円	28件	6,500万円	2012(H24)年～	
	人文科学部門	1件	300万円	14件	3,100万円		
	計	3件	900万円	42件	9,600万円		
(2)学術研究奨励金（助成）	(A)個人研究	自然科学部門	39件	3,900万円	1,507件	120,205万円	1963(S38)年～
		人文科学部門	40件	4,000万円	839件	59,992万円	
		小計	79件	7,900万円	2,346件	180,197万円	
	(B)共同研究	自然科学部門	8件	4,000万円	39件	19,360万円	2015(H27)年～
		人文科学部門	4件	1,984万円	20件	8,335万円	
		小計	12件	5,984万円	59件	27,695万円	
計	91件	13,884万円	2,405件	207,892万円			
(3)特定研究助成金（助成）	創成研究助成	2件	1,000万円	2件	1,000万円	2025(R7)年～	
	萌芽研究助成	5件	500万円	5件	500万円		
	計	7件	1,500万円	7件	1,500万円		
(4)学術活動支援金（助成）		7件	350万円	41件	1,970万円	2013(H25)年～「その他研究支援」 2016(H28)年～「学術活動支援」	
(5)大学院博士課程奨学金		-件	-万円	27件	2,600万円	2004(H16)～2012(H24)年終了	
合計		108件	16,634万円	2,522件	223,562万円		

各事業の贈呈者及び助成実績推移等は以下の資料を参照下さい。

付表1. 第63回(2025年度)学術研究奨励金 贈呈者一覧

付図1. 学術研究奨励金 助成推移

付表2. 2025年度 学術活動支援 贈呈一覧

付表3. 第1回(2025年度)特定研究助成金 贈呈者一覧

付表4. 第14回(2025年度)三島海雲学術賞 受賞者一覧

以上

第 63 回 (2025 年度) 学術研究奨励金贈呈者一覧 (自然科学部門)

【個人研究奨励金】

No.	「食の科学」との関連	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	性別	贈呈額 (万円)
1	栄養・嗜好・生理機能	農学	β -hydroxybutyrateの新規生理作用を介した骨格筋保護効果	AISYAH RAHMAWATI	広島大学大学院 統合生命科学研究所	博士課程	30	女性	100
2	食の安全	農学	共培養系を用いた培養困難な植物病原細菌に有効かつ安全な防除化合物のスクリーニング	赤堀 真子	東京大学大学院 農学生命科学研究科	博士課程	26	女性	100
3	疾病予防	神経科学	加齢に伴う長期記憶障害の細胞基盤解明と食による介入法の構築	上田(石原) 奈津実	東邦大学 理学部 生物分子科学科	准教授	44	女性	100
4	栄養・嗜好・生理機能	医学	サルコペニア抑制における最適なタンパク質摂取量とそのメカニズムの解明	荒木 裕貴	Biozentrum, University of Basel Markus Rüegg Lab	研究員	37	男性	100
5	栄養・嗜好・生理機能	生物学	古代人ゲノムを用いた東ユーラシア地域における食性変容メカニズムの解明	石谷 孔司	金沢大学 サピエンス進化医学研究センター	助教	36	男性	100
6	栄養・嗜好・生理機能	生体分子科学	感覚分子と受容体の立体構造相互作用を活用した味覚・嗅覚分子予測のためのAI技術開発	岩田 浩明	鳥取大学 医学部	教授	42	男性	100
7	栄養・嗜好・生理機能	農学	幹細胞因子変異マウスを用いた味覚受容体を介した自然リンパ球活性化機構の解析	WU YINGA	東京大学大学院 農学生命科学研究科	博士課程	30	女性	100
8	疾病予防	健康・スポーツ科学	メチルグリオキサルル摂取による健康増進作用の検討:骨格筋-脳連関の視点から	江川 達郎	京都大学大学院 人間・環境学研究所	准教授	41	男性	100
9	疾病予防	医学	腸管恒常性における硫酸化糖鎖の役割の解明	岡本 翔太	大阪大学大学院 医学系研究科 免疫制御学	博士課程	36	男性	100
10	栄養・嗜好・生理機能	農学	大量培養系を用いて合成したTMC4タンパク質の高純度精製技術の開発	笠原 洋一	東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻	特任研究員	42	男性	100
11	栄養・嗜好・生理機能	腫瘍学	食事由来の短鎖・中鎖脂肪酸による抗腫瘍免疫応答増強作用の解明とその臨床応用	加藤 侑希	日本大学 医学部 機能形態学系	助教	38	男性	100
12	発酵・微生物利用	腫瘍学	黒酵母由来 β -グルカンによる腫瘍免疫環境最適化とがんワクチン増強研究	胡 キン	国立成育医療研究センター 移植免疫室	研究員	41	男性	100
13	その他	神経科学	摂食と社会行動を相互に制御する神経基盤の解明	昆 一弘	Johns Hopkins University Kennedy Krieger Institute Neuroscience	研究員	31	男性	100
14	疾病予防	医学	NFIAと時計遺伝子の相互作用メカニズムの解明と褐色脂肪細胞を活性化する食習慣の解析	斎藤 楓	東京大学 保健・健康推進本部	特任研究員	31	女性	100
15	食の安全	農学	モモせん孔細菌病の防除に向けた持続可能な防除法の探索	坂田 七海	岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域(農)	特任助教	28	女性	100
16	疾病予防	総合人文社会	通いの場の地域活動による地域在住高齢者の社会的ネットワークと食行動との関連	佐藤 清香	高崎健康福祉大学 健康福祉学部	講師	43	女性	100
17	栄養・嗜好・生理機能	神経科学	食嗜好をもたらす風味の脳内情報処理機構	塩谷 和基	名古屋大学大学院 生命農学研究科	助教	31	男性	100
18	発酵・微生物利用	薬学	乳酸菌発酵食品由来の新規細胞外小胞の機能特性と皮膚恒常性維持機構の解明	篠崎 優衣	星薬科大学 生体分子薬理学研究室	博士課程	26	女性	100
19	食の安全	化学	水中PFASの可視光分解と分解物回収を可能にする有機半導体ナノ粒子の技術開発	柴田 暁貴	東北大学大学院 工学研究科 バイオ工学専攻	博士課程	27	男性	100
20	栄養・嗜好・生理機能	神経科学	神経変性疾患治療に向けた腸PIEZO1選択的ターゲティング法の構築	鈴木 美希	順天堂大学 薬学部	講師	39	女性	100
21	栄養・嗜好・生理機能	農学	卵白タンパク加水分解物の生体調節作用機序の解明とその応用	田中 愛健	九州大学大学院 農学研究科	助教	38	男性	100
22	食の安全	生物学	ファージ感染阻害因子を克服する合成ファージを用いた大腸菌O157高感度検出技術の開発	田村 あずみ	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻	博士課程	27	女性	100
23	疾病予防	医学	食生活関連疾患の遺伝学的背景の解明と予防医療への応用	内藤 龍彦	Icahn School of Medicine at Mount Sinai Neuroscience	研究員	36	男性	100
24	栄養・嗜好・生理機能	医学	食に関する2疾患(神経性やせ症・MASLD)の共通点に着目した肝・神経連関の解明	中居 暉	大阪公立大学大学院 医学研究科 医化学	博士課程	27	男性	100
25	栄養・嗜好・生理機能	薬学	末梢組織を作用点とする抗うつ食材としてのミカン区・ダイダイ区カンキツの有用性評価	中島 健輔	長崎国際大学 薬学部 薬学科	助教	45	男性	100

(付表 1-2)

【個人研究奨励金】

No.	「食の科学」との関連	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	性別	贈呈額(万円)
26	疾病予防	実験動物学	酪酸による神経-免疫調節を介したアレルギー制御機構の解明	長田 和樹	東京理科大学 先進工学部 生命システム工学科	助教	28	男性	100
27	疾病予防	生活科学	口腔を守る食品機能成分のハイスループットスクリーニング法の開発と作用機構の解析	萩原 真	新潟県立大学 人間生活学部 健康栄養学科	講師	43	男性	100
28	栄養・嗜好・生理機能	脳科学	脳の生体エネルギーを回復する植物栄養素の同定：統合失調症に対する新たな介入戦略	Parida Isabella Supardi	東京都医学総合研究所 統合失調症プロジェクト	研究員	31	女性	100
29	栄養・嗜好・生理機能	医学	児童思春期の摂食障害患者の家族療法を支援する生成AI対話システムの開発研究	半澤 愛	岡山大学病院 小児科・小児心身医療科	医員	34	女性	100
30	食の安全	薬学	胎盤機能に着目した食品ナノマテリアルの安全性評価	東阪 和馬	大阪大学 高等共創研究院	准教授	39	男性	100
31	発酵・微生物利用	農学	黄麹菌の栄養源応答機構に関する分子細胞生物学的解析	樋口 裕次郎	九州大学大学院 農学研究院	准教授	43	男性	100
32	栄養・嗜好・生理機能	農学	ホスホリパーゼ活性制御による子宮内環境の最適化と着床成功率の向上	松野 雄太	東海大学 総合農学研究所	特定研究員	35	男性	100
33	疾病予防	生物学	腸管オルガノイド共培養系を用いた次世代プロバイオティクスの機能評価	宮内 栄治	群馬大学 生体調節研究所	准教授	40	男性	100
34	疾病予防	神経科学	腸脳相関から紐解く：親の栄養状態が子のストレスレジリエンスに与える影響	村山 留美	千葉大学大学院 医学薬学府 先端医学薬学専攻	博士課程	29	女性	100
35	栄養・嗜好・生理機能	神経科学	記憶の長期化を司る細菌叢・腸・脳軸の理解	山方 恒宏	秋田大学大学院 理工学研究科	准教授	44	男性	100
36	疾病予防	医学	高脂肪食摂取による肥満を予防する新規分子機構の解明	山田 麻未	名古屋市立大学大学院 理学研究科	特任助教	31	女性	100
37	栄養・嗜好・生理機能	健康・スポーツ科学	食行動・エネルギー代謝制御を担う神経分子基盤としてのArcadlinの可能性	横川 拓海	京都大学大学院 農学研究科 食品生物学専攻	助教	33	男性	100
38	栄養・嗜好・生理機能	農学	心理ストレスが味覚・嗅覚受容器に及ぼす影響の解明	吉田 悠太	茨城大学 学術研究院応用生物学野	助教	32	男性	100
39	栄養・嗜好・生理機能	生物学	母体メチオンン欠乏が腸内細菌を介した次世代マウスの代謝再プログラミングに及ぼす影響	李 旭光	東京大学大学院 農学生命科学研究科	研究員	34	男性	100
自然科学部門 応募件数 190件					贈呈件数 39件		贈呈金額 3,900万円		

【共同研究奨励金】

No.	「食の科学」との関連	対象分野	研究課題	代表研究者	所属機関	役職	年齢	共同研究者数	贈呈額(万円)
1	栄養・嗜好・生理機能	農学	高濃度塩による苦味受容体活性化メカニズムの解明	林 到炫	京都大学大学院 医学研究科 分子細胞情報学	助教	42	3	500
2	食の安全	農学	カドミウム摂取による食のリスクの多角的低減にむけたイネの新規有用遺伝子の単離	浦口 晋平	北里大学 薬学部・公衆衛生学教室	講師	45	1	500
3	発酵・微生物利用	ゲノム科学	腸内細菌叢において見出した新規ファージ防御機構の解明と応用展開	倉田 竜明	理化学研究所 開拓研究本部	研究員	36	2	500
4	疾病予防	生物学	ウェットとドライを融合した宿主脂肪酸代謝酵素とノロウイルス複製相互作用の研究	小林 さくら	東京大学大学院 農学生命科学研究科	博士課程	29	4	500
5	疾病予防	医学	食品由来物質による脂肪組織活性化によるがん免疫微小環境の調節と免疫療法戦略の開発	坂田 豊典	東京大学 定量生命科学研究所 ゲノム情報解析研究分野	助教	36	2	500
6	疾病予防	薬学	高機能化米ぬかナノ粒子の経口摂取による炎症性腸疾患の予防	西川 元也	東京理科大学 薬学部	教授	57	2	500
7	食の安全	薬学	双方向性トランスオミクス解析によるトランス脂肪酸に対する細胞応答機構の包括的解析	平田 祐介	東北大学大学院 薬学研究科 衛生化学分野	助教	41	4	500
8	栄養・嗜好・生理機能	歯学	異所性味覚受容体を介した食品の新たな生理機能	松原 琢磨	九州歯科大学 分子情報生化学分野	准教授	48	2	500
自然科学部門 応募件数 62件					贈呈件数 8件		贈呈金額 4,000万円		

自然科学部門 贈呈金額合計 7,900万円
(所属・役職は申請時、五十音順、敬称略)

(付表 1-3)

第 63 回 (2025 年度) 学術研究奨励金贈呈者一覧 (人文科学部門)

【個人研究奨励金】

No	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	性別	贈呈額 (万円)
1	史学	アジア-アフリカ交流圏としてのサハラダイナミクス-19世紀のスーフ地方を中心に	天野 佑紀	フランス社会科学高等研究院 歴史と文明学科	博士課程	29	男性	100
2	人文地理学	日本とベトナムにおけるトランスローカル・コミュニティの形成と持続可能な農村社会	李 賢郁	信州大学 経法学部	講師	47	女性	100
3	史学	19世紀のロシア帝国のシーア派政策とイランのシーア派ウラマー	石本 雅之	大阪公立大学大学院 文学研究科	博士課程	29	男性	100
4	史学	元・明交替期における禅宗寺院の伽藍配置の変革について-太原崇善寺の研究を中心に	温 静	東京藝術大学大学院 美術研究科	教育研究助手	41	女性	100
5	史学	近世大名家臣層にみる武家の「家」意識形成と展開	宇野 鈴音	早稲田大学大学院 教育学研究科	博士課程	25	女性	100
6	史学	宋代の朝貢と広域秩序	遠藤 総史	中央研究院 歴史語言研究所	博士後研究学者	37	男性	100
7	政治学	法的銃剣とブルドーザーへの軍用地主の抵抗——坪反戦地主と宇宜野湾郷友会の事例から	大城 尚子	北京工業大学 外国語学院	外教講師	44	女性	100
8	ジェンダー	植民地主義とジェンダー: 植民地朝鮮における日本人産婦人科医の実践	大室 恵美	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科	博士課程	43	女性	100
9	地域研究	内藤久寛による日中親善事業の史学的研究 —戦前民間レベル親善の実態とその限界—	何 琦璠	東北大学大学院 国際文化研究科	博士課程	27	女性	100
10	生活科学	日本のスポーツアニムにおける食の描写の経時的な変遷	角谷 雄哉	大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部	准教授	37	男性	100
11	考古学	遼東半島における埋蔵文化財採集活動からみた近現代考古学史の再検討	加藤 俊吾	大阪歴史博物館 企画広報課	学芸員	54	男性	100
12	経済学	カンボジアの発展過程における零細小売企業の変容:5年間の追跡調査に基づく実証研究	金山 雄樹	慶應義塾大学大学院 経済学研究科	博士課程	26	男性	100
13	社会学	日本におけるベトナム人技能実習生が不法就労を選択する要因	NGUYEN HOANG THANH DANH	昭和女子大学 国際学部国際学科	非常勤講師	36	男性	100
14	人文地理学	農業従事者の筋骨格系障害を多面的に解く:社会学と医療が交差する学際実証研究	WU YUNXI	香川大学 インターナショナルオフィス	講師	32	女性	100
15	哲学、倫理学、宗教学	モンゴル時代における全真教の思想史的研究	孔 詩	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士課程	32	女性	100
16	科学社会学・科学技術史	2018年配偶者控除改正が日本の既婚女性の労働市場参加及びメンタルヘルスに与える影響	後藤 悠香	ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) 健康経済学科・公衆衛生学部	博士課程	29	女性	100
17	哲学、倫理学、宗教学	根本説一切有部律「破僧事」における破僧後のデーヴァグッタ物語とその並行資料の研究	小南 薫	京都大学大学院 文学研究科	博士課程	32	男性	100
18	人文地理学	対立から協調へのサブ・エスニック集団:1970年代以降の在日華僑社会の変容	JI CHEN	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	26	男性	100
19	史学	ロシア帝政期の南東コーカサスにおける「強制婚」、「誘拐婚」、「駆け落ち」	塩野崎 信也	龍谷大学 文学部	准教授	42	男性	100
20	考古学	前近代カンボジアの上座部仏教寺院の成立に関する研究:上座部仏教国化の過程と実態	下田 麻里子	早稲田大学大学院 文学研究科	博士課程	37	女性	100
21	文学	南宋士大夫の詩文制作と郷里社会——陸游・楊万里・周必大を中心に	岑 天翔	大阪大学大学院 人文学研究科	博士課程	28	男性	100
22	地域研究	トルクメニスタン政府によるオンライン空間の管理・統制に対する市民社会の対応	鈴木 朝香	東京大学大学院 学際情報学府	博士課程	26	女性	100
23	史学	韓国黎明期(1948-1960)政府による「韓国」国民形成の試み	高城 建人	神戸女子大学 文学部国際教養学科	助教	30	男性	100
24	史学	近代日本における在郷軍人と政党政治との関係についての研究	玉木 寛輝	慶應義塾大学 教養研究センター	非常勤講師	37	男性	100
25	考古学	特殊須恵器を通じた古代東アジアにおける地域間文化交流と生産体制の解明	陳 永強	名古屋大学大学院 人文学研究科	博士課程	29	男性	100
26	芸術学	日本書道史における「和様」言説の再検討-唐風受容の重層性と時差の視点から-	陳 雪濤	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士課程	34	女性	100
27	社会学	近代日本における港の統治メカニズム-沖仲仕に着目して	中村 健太	岡山県立大学 保健福祉学部 現代福祉学科	助教	30	男性	100
28	文化人類学、民俗学	インド・ジャイナ教在家者における寄付活動の人類学的探究	西坂 季恵	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	29	女性	100
29	芸術学	1930-40年代戦間期日本における「国民詩曲」の音楽史的意義	長谷川 由依	東京藝術大学大学院 音楽研究科	博士課程	27	女性	100

(付表 1-4)

【個人研究奨励金】

No	対象分野	研究課題	氏名	所属機関	役職	年齢	性別	贈呈額 (万円)
30	地域研究	日本統治期台湾映画史に見る統治／抵抗の二項対立から逸脱する台湾人の主体性	原口 直希	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	44	男性	100
31	文化人類学、 民俗学	鉱山の後—植物・人間・鉱毒の関係性を問い直す—	FUNG Wan Yin Kimberly	一橋大学大学院 社会学研究科	博士課程	30	女性	100
32	芸術学	冷戦期の訪中日本人によるドキュメンタリーの研究:『西側陣営』の東アジア的視点	龐 鴻	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	34	女性	100
33	史学	清朝における四川省移民社会の形成と存続—『南部県档案』を史料として	穆 林	京都大学大学院 文学研究科	博士課程	29	女性	100
34	法学	犯罪被害者の法的地位と司法参加に関する検討—日中比較研究を踏まえて—	馬 柔佳	大阪大学大学院 法学研究科	博士課程	30	女性	100
35	文化人類学、 民俗学	台湾における汎原住民意識の拡張過程に関する文化人類学的研究	益田 喜和子	慶應義塾大学大学院 社会学研究科	博士課程	30	女性	100
36	政治学	冷戦下アジア・太平洋島嶼間の米核兵器に関する研究:沖繩・グアム・ミクロネシア	元山 仁士郎	一橋大学大学院 法学研究科	博士課程	33	男性	100
37	哲学、倫理学、 宗教学	法華堂と法華堂墓所に関する基礎的研究	矢島 正豊	早稲田大学 グローバルエデュケーション センター	助手	36	男性	100
38	地域研究	戦後賠償建築論:日本によるジャカルタ都市空間の近代化	山下 嗣太	コーネル大学 アジア研究学科	博士課程	36	男性	100
39	社会学	1970年前後の「核」と向き合った人びとの模索:「写真実践」より対話する冷戦下の経験	吉成 哲平	大阪大学大学院 人間科学研究科	博士課程	30	男性	100
40	史学	冷戦期の在日米軍と性産業に関する史的研究:1950・60年代の厚木基地の事例から	和田 吾雄彦アン ジェロ	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程	27	男性	100
人文科学応募件数 192件				贈呈件数 40件	贈呈金額 4,000万円			

【共同研究奨励金】

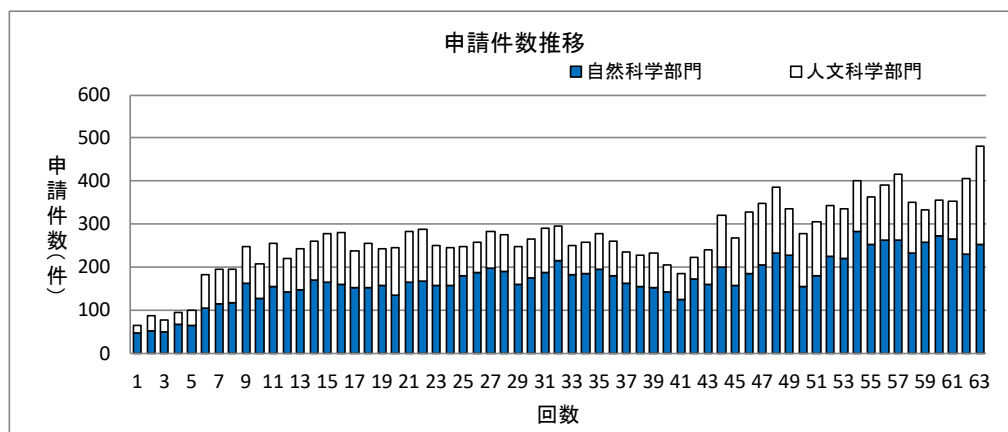
No	対象分野	研究課題	代表研究者	所属機関	役職区分	年齢	共同 研究者 数	贈呈額 (総額)
1	文化財科学・ 博物館学	東アジア祭祀記録を軸とした共創型アーカイブズ活用モデルの開発	高科 真紀	国立民族学博物館 人類基礎理論研究部	助教	39	6	490
2	地域研究	東アジアにおける色彩感覚と認識に関する総合的研究	竹内 有子	京都先端科学大学 人文学部	准教授	52	6	494
3	史学	モンゴル仏教寺院遺跡のデジタル・アーカイブの構築	堀内 香里	日本学術振興会 東北学院大学	研究員・PD	44	7	500
4	法学	東アジアにおけるデジタル立憲主義——日台韓の憲法理論の深層	山本 健人	北九州市立大学 法学部	准教授	34	8	500
人文科学応募件数 36件				贈呈件数 4件	贈呈金額 1,984万円			

人文科学部門 贈呈金額合計 5,984万円
(所属・役職は申請時、五十音順、敬称略)

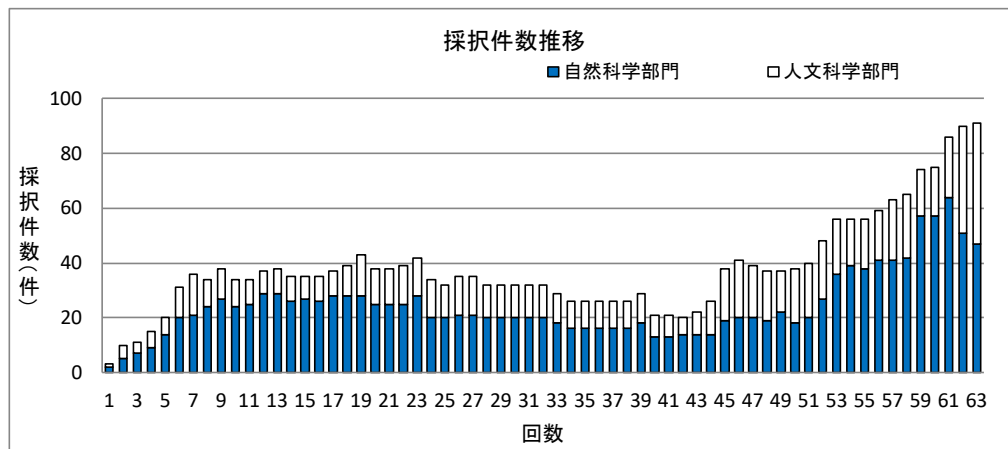
(付図1)

学術研究奨励金 助成推移 (共同研究含む第53回～、奨学金を除く)

第1回(1963年(昭和38年))～第63回(2025年(令和7年))

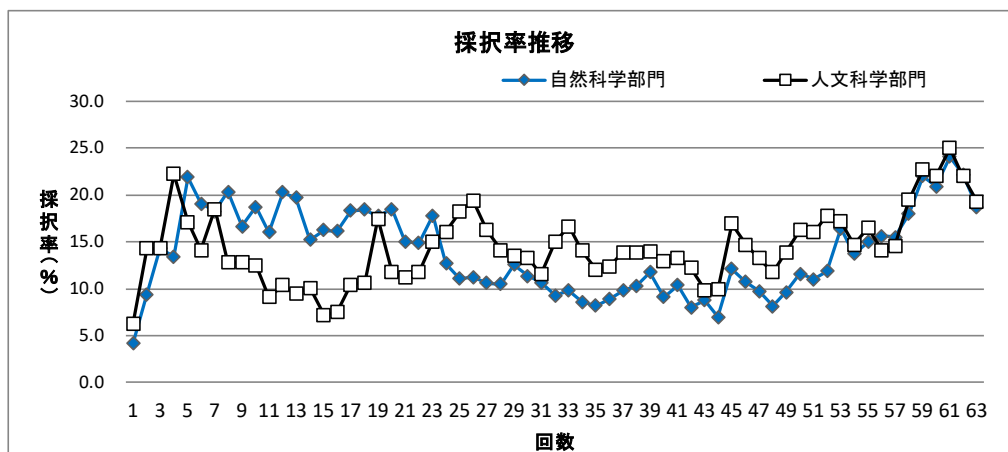


(2025年度)
自然科学 252件
人文科学 228件
計 480件



(2025年度)
自然科学 47件
人文科学 44件
計 91件

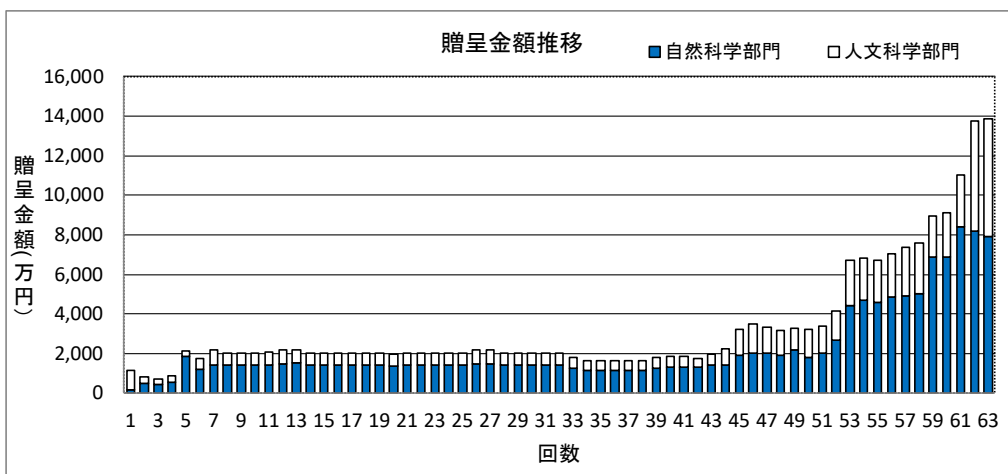
(累計)
自然科学 1,546件
人文科学 859件
計 2,405件



(2025年度)
自然科学 18.7%
人文科学 19.3%

(平均採択率)
19.0%

53回より
自然・人文の1件
当たり助成を
同額にした
(総額比率は変えず)



(2025年度)
自然科学
7,900万円
人文科学
5,984万円
(合計)
13,884万円

(累計)
207,892万円

(付表2)

2025年度 学術活動支援 贈呈一覧 (本年度支給分)

	2024年度第Ⅱ期	2024年度第Ⅱ期	2024年度第Ⅱ期
部門	人文科学分野	人文科学分野	人文科学分野
活動の名称	国際シンポジウム：スコイエン写本と根本説一切有部律ウッタラ・グラント	ヨーロッパとアジアの環境美学：批判的比較	先住民言語の復興に関する相乗効果シンポジウム
責任者	東京大学人文社会系研究科 准教授 八尾 史	北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 講師 丁 乙	人間文化研究機構 国立国語研究所 准教授 山田 真寛
開催時期	2025年3月10日～3月11日	2025年4月22日～4月29日	2025年6月13日～6月16日
開催場所	東京大学本郷キャンパス 法文一号館113教室	東京 (東京大学、日本学士院)	国立国語研究所
参加予定者数	30名(内、海外から4名)	24名 (内、海外から14名)	200名 (内、海外から20名)
助成額	50万円 (運営経費総額150万円)	50万円 (運営経費総額250万円)	50万円 (運営経費総額400万円)

	2025年度第Ⅰ期	2025年度第Ⅰ期
部門	自然科学分野	自然科学分野
活動の名称	第58回天然物化学 談話会	2025年度日本味と匂 学会第59回大会
責任者	東京農業大学生命科学部 准教授 斉藤竜男	大阪大学大学院間科学研究科 教授 八十島安伸
開催時期	2025年7月13～15日	2025年9月8～10日
開催場所	トーセイホテル&セミナー幕張	大阪大学豊中キャンパス
参加予定者数	210名 (海外から10名)	350～400名(海外から5～15名)
助成額	50万円 (運営経費総額670万円)	50万円 (運営経費総額655万円)

	2025年度第Ⅰ期	2025年度第Ⅰ期
部門	人文科学分野	人文科学分野
活動の名称	第10回東アジア人文研究博士学生ワークショップ	アジアの伝統的なワザをつなぐ異文化間シンポジウム
責任者	京都大学大学院文学研究科 准教授 池田恭哉	東京藝術大学 未来創造継承センター 小泉文夫資料室 学術研究員 尾高暁子
開催時期	2026年3月15～20日	2025年12月上旬
開催場所	京都大学文学研究科 第一～三講義室	東京藝術大学音楽部 第6ホール
参加予定者数	50名 (海外から30名)	会場80名(海外から10名) オンライン含む130名 (同、海外から40名)
助成額	50万円 (運営経費総額350万円)	50万円 (運営経費総額50万円)

(付表3)

第1回(2025年度)特定研究助成金贈呈者一覧

【萌芽研究助成金】

No.	研究課題	代表研究者	所属機関	役職	年齢	共同研究者数	助成期間(年)	本年度贈呈額(万円)
1	タケノコ生産を支えるためのエビジェネティック技術とリモートセンシング技術を活用した竹林の開花予測システムの開発	遠藤 求	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	教授	45	2	2	100
2	商品化されなかった自給的在来野菜の価値は何か?	近藤 友大	京都大学大学院 農学研究科	准教授	43	2	2	100
3	アグロエコロジーへの転換と経済・環境・社会の持続可能性評価	関 耕平	島根大学 法学部	教授	47	2	2	100
4	四国県庁所在地ベッドタウンにおける食品アクセス困難と生活習慣及び健康状態に関する栄養疫学研究	丸山 広達	愛媛大学大学院 農学研究科	准教授	44	2	2	100
5	「美味しい記憶」デザインのためのミニ・アクアポニックス・システム開発	吉田 祐子	滋賀大学 経済学部 国際交流機構	准教授	40	2	2	100
萌芽研究助成金 応募件数 13件			贈呈件数 5件		贈呈金額 500万円			

【創成研究助成金】

No.	研究課題	代表研究者	所属機関	役職	年齢	共同研究者数	助成期間(年)	本年度贈呈額(万円)
1	在来知の科学的検証によるアグロエコロジー論の深化と社会実装に向けた学際的研究：持続可能な地域フードシステム構築と農学知の刷新	伊藤 和憲	明治国際医療大学 鍼灸学部	教授	52	5	3	500
2	絶滅が危惧される醸造・発酵食品の科学的解明を通じた食文化の多様性保全	田中 俊徳	九州大学 アジア・オセアニア 研究教育機構	准教授	41	3	3	500
創成研究助成金 応募件数 21件			贈呈件数 2件		贈呈金額 1,000万円			

(付表4)

第14回(2025年度)三島海雲学術賞受賞者

【自然科学部門】

No.	受賞者	受賞テーマ	所属機関	役職	学位	年齢	推薦者	当財団助成歴	副賞(万円)
1	おぼた ふみあき 小幡 史明	健康寿命を制御する食要因の発見とその遺伝学的解析	理化学研究所 生命機能科学研究センター 栄養応答研究チーム	チーム ディレクター	博士 (薬学)	40	理化学研究所 理事長 五神 真	無	300
2	ふるさわ ゆきひろ 古澤 之裕	食物繊維による腸内環境と免疫の制御を介した疾患予防に関する研究	富山県立大学 工学部 医薬品工学科 バイオ医薬品工学講座	准教授	博士 (医学)	42	富山県立大学 学長 下山 勲	無	300

【人文科学部門】

No.	受賞者	受賞テーマ	所属	役職	学位	年齢	推薦者	当財団助成歴	副賞(万円)
1	つちや ましろう 土屋 喜生	EMPLACING EAST TIMOR : Regime Change and Knowledge Production,1860-2010 (2024年5月刊行 University of Hawai'i Press)	京都大学 東南アジア地域研究研究所	助教	博士 (歴史学)	37	京都大学 東南アジア地域 研究研究所 所長 三重野文晴 東南アジア学会 会長 長津 一史	無	300

2. 業務及び職務の執行状況

2025年度の業務執行に関する事項は以下の通りです。

1) 評議員・役員・委員に関する事項

付表5、6（18、19ページ）をご参照ください。

2) 理事会・評議員会等に関する事項

(1) 理事会（開催回数：理事会7回開催）

回	開催日	決議事項	報告事項
第83回	理事会（臨時）	（決議の省略による方法）	
	1月14日	第1号議案 「2024年度第Ⅱ期学術活動支援」贈呈者等承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第84回	理事会（通常）		
	2月19日 如水会館	第1号議案 第31回評議員会（定時）招集の件 第2号議案 2024年度事業報告及び附属明細書承認の件 第3号議案 2024年度財産・損益の状況及び附属明細書承認の件 第4号議案 任期満了に伴う理事候補者推薦の件 第5号議案 任期満了に伴う監事候補者推薦の件 第6号議案 任期満了に伴う顧問・名誉顧問選任の件 第7号議案 任期満了に伴う資産管理委員・資産管理委員会アドバイザー委嘱の件 第8号議案 事務局長選任の件 第9号議案 役員損害賠償責任保険更新の件 第10号議案 2024年度事業報告書等の提出書類承認の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 2024年度業務及び職務の執行状況報告 2. 2024年度資産管理運用状況について 3. 基本財産の株式等の議決権行使について
第85回	理事会（臨時）		
	3月17日 東京會館	第1号議案 理事長（代表理事）選定の件 第2号議案 理事の役職選定の件 第3号議案 業務執行理事選定の件 第4号議案 理事長及び常勤理事の報酬額承認の件 <いずれも異議なく承認された>	
第86回	理事会（臨時）	（決議の省略による方法）	
	4月7日	第1号議案 第14回（2025年度）三島海雲学術賞受賞者承認の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第87回	理事会（臨時）	（決議の省略による方法）	
	6月4日	第1号議案 「第63回（2025年度）学術研究奨励金」贈呈者等承認の件 第2号議案 「第1回（2025年度）特定研究助成金」贈呈者等承認の件 第3号議案 「2025年度第Ⅰ期学術活動支援」贈呈者等承認の件 第4号議案 旅費規程改定の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第88回	理事会（臨時）	（決議の省略による方法）	
	9月8日	第1号議案 任期満了に伴う学術委員（自然・人文科学部門）委嘱の件 <理事全員から承認を得た。監事からの異議はなかった。>	
第89回	理事会（通常）		
	11月28日 セルリアンタワー東急ホテル	第1号議案 第32回評議員会（臨時）招集の件 第2号議案 2026年度事業計画承認の件 第3号議案 2026年度収支（損益）予算承認の件 第4号議案 2026年度資産運用基本方針及び計画承認の件 第5号議案 2026年度事業計画書等の提出書類承認の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 2025年度事業（中間）報告 2. 2025年度業務執行状況（中間）報告 3. 2025年度資産管理運用状況について 4. 公益法人制度・会計基準の改正に伴う定期提出書類の変更について

(2) 監査(於 財団会議室)

1回	1月31日	1. 2024年度事業報告及び附属明細書に関する事項 2. 2024年度財産及び損益の状況及び附属明細書に関する事項
2回	9月29日	1. 2025年度事業並びに業務に関する事項 2. 2026年度事業計画案、収支(損益)予算案、資産運用方針案及び資産運用計画案について

(3) 評議員会(開催回数:評議員会2回開催)

回	開催日	決議事項	報告事項
第31回 評議員会(定時)			
	3月17日 東京會館	第1号議案 2024年度事業報告及び附属明細書承認の件 第2号議案 2024年度財産・損益の状況及び附属明細書承認の件 第3号議案 任期満了に伴う理事選任の件 第4号議案 任期満了に伴う監事選任の件 <いずれも異議なく承認された>	1. 任期満了に伴う顧問・名誉顧問選任について 2. 任期満了に伴う資産管理委員・資産管理委員会アドバイザー委嘱について 3. 事務局長選任について 4. 役員損害賠償責任保険更新について 5. 2024年度事業報告書等の提出書類について 6. 2024年度資産管理運用状況について 7. 基本財産の株式等の議決権行使について
第32回評議員会(臨時)			
	11月28日 セルリアンタワー東急ホテル		1. 2026年度事業計画について 2. 2026年度収支(損益)予算について 3. 2026年度資産運用基本方針及び計画について 4. 2026年度事業計画書等の提出書類について 5. 2025年度事業(中間)報告 6. 2025年度業務執行状況(中間)報告 7. 2025年度資産管理状況について 8. 公益法人制度・会計基準の改正に伴う定期提出書類の変更について 9. 任期満了に伴う学術委員(自然・人文科学部門)委嘱について

3) 学術委員会・選考委員会等に関する事項

(1) 選考委員会(開催回数:自然科学部門3回、人文科学部門3回、特定研究助成部門1回開催)

2025年度	1月29日	「第14回三島海雲学術賞一次選考委員会」(自然科学部門)(オンライン会議)
	3月19日	「第14回三島海雲学術賞二次選考委員会」(自然科学部門)(2名選出)
	3月27日	「第14回三島海雲学術賞二次選考委員会」(人文科学部門)(1名選出)
	5月19日	「第1回特定研究助成金選考委員会」(特定研究助成部門) (萌芽研究5件、創成研究2件選出)
	5月21日	「第63回学術研究奨励金」(自然科学部門)(個人研究40件※、共同研究8件選出) ※爾後、個人研究1件の辞退あり 「2025年度第I期学術活動支援」(自然科学部門、意見聴取)(オンライン会議)
	5月27日	「第63回学術研究奨励金」(人文科学部門)(個人研究40件、共同研究4件選出) 「2025年度第I期学術活動支援」(意見聴取)
2026年度	12月15日	「第15回三島海雲学術賞一次選考委員会」(人文科学部門) 「2025年度第I期学術活動支援」(人文科学部門、意見聴取)

(2) 学術委員会(開催回数：自然科学部門1回、人文科学部門1回、特定研究助成部門1回開催)

特定研究助成部門	9月8日	1. 2025年度研究助成事業の実績報告 2. 2026年度応募要項、事業計画・予算(案)について、他
自然科学部門	10月22日	1. 2025年度研究助成事業の実績報告 2. 2026年度応募要項、事業計画・予算(案)について、他
人文科学部門	11月5日	1. 2025年度研究助成事業の実績報告 2. 2026年度応募要項、事業計画・予算(案)について、他

(3) 贈呈式

7月4日に東京會館にて、贈呈式及び三島海雲学術賞受賞講演会を執り行いました。

贈呈：第14回三島海雲学術賞、第63回学術研究奨励金、第1回特定研究助成金
受賞講演：第14回三島海雲学術賞受賞者 自然科学部門2題、人文科学部門1題

(4) 研究報告会

9月19日に品川プリンスホテルにて、学術研究奨励金に採択された研究の学術的な成果の発表の場とするとともに、自然科学と人文科学の両分野の研究者同士の交流を深め、今後の研究の発展につなげる機会を提供することを目的に、自然・人文科学部門共催の研究報告会を開催しました。

研究報告：2024年度共同研究報告 自然科学部門3題、人文科学部門3題

聴講：2024年度個人研究奨励金受贈者27名、共同研究奨励金受贈者11名

4) 資産管理委員会に関する事項

(1) 資産管理委員会

第50回	2月6日	1. 2024年度事業報告(案)及び決算(案)について 2. 2024年度資産管理運用結果について 3. 2025年度資産運用計画について
第51回	6月18日	1. 2025年度資産管理運用状況報告
第52回	10月15日	1. 2025年度資産管理運用状況報告 2. 2026年度資産運用方針(案)及び資産運用計画(案)について 3. 2026年度収支予算(案)について
第53回	12月10日	1. 第89回理事会における承認事項について 2. 2025年度資産管理運用状況報告

(2) 資産管理運用の状況について

<2025年度資産管理運用状況の詳細は、別途報告します。>

5) 登記などに関する事項

2025年3月24日 役員選任(改選)に伴う登記

6) 内閣府認定等委員会届出等に関する事項

月 日	届け・提出等
3月21日	(定期提出) 2024年度事業報告等
4月21日	(変更届出) 役員改選に伴う就任、退任
12月10日	(定期提出) 2026年度事業計画書・収支予算書

7) 契約に関する事項

重要な契約締結はなし

8) その他の重要事項

(1) 年次報告書の発行

11月10日	2025年度「年次報告書」発行	発行部数	400部
--------	-----------------	------	------

注) 年次報告書には研究概要を掲載し、研究報告書は電子媒体にて保管。

(2) 普及広報

三島海雲学術賞の受賞・応募および受賞記念オンライン講演の告知広告を7月23～25日に日本経済・読売・朝日新聞(東阪)と主要地方紙7紙に掲載しました。

以 上

(付表5)

評議員・役員・顧問 名簿

(2025年12月31日現在) 敬称略

職名	常勤・非常勤	氏名	現職
評議員(9名)			
評議員会 会長	非常勤	谷口 直之	大阪国際がんセンター名誉研究所長兼部長 大阪大学名誉教授
評議員	非常勤	岸本 美緒	お茶の水女子大学名誉教授
評議員	非常勤	西川 孝純	共同通信社客員論説委員 元共同通信社論説委員長
評議員	非常勤	清水 孝雄	微生物化学研究所長 国立国際医療研究センターシニアフェロー 東京大学名誉教授
評議員	非常勤	塚本 隆史	株式会社みずほフィナンシャルグループ特別顧問 ・元取締役社長・会長
評議員	非常勤	坪井 善明	早稲田大学名誉教授
評議員	非常勤	寺田 篤	元株式会社電通ラジオテレビ&エンタテインメント 局長
評議員	非常勤	濱田 正美	神戸大学名誉教授 京都大学名誉教授
評議員	非常勤	西村 秀豊	元カルピス株式会社取締役執行役員
理事(9名)			
理事長	非常勤	羽田 正	東京大学名誉教授
副理事長	非常勤	清水 誠	東京大学名誉教授
理事	非常勤	三尾 裕子	東京外国語大学名誉教授
理事	非常勤	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
理事	非常勤	山本 直之	順天堂大学大学院医学研究科特任教授
理事	非常勤	和田 一郎	牛嶋・和田・藤津・吉永法律事務所 弁護士
理事	非常勤	齋藤 芳男	元カルピス株式会社常務執行役員
常務理事	常勤	山田 誠	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
常務理事	常勤	青山 光夫	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
監事(2名)			
監事	非常勤	打越 誠	元中央日本土地建物株式会社顧問
監事	非常勤	齋藤 正三	齋藤公認会計士事務所所長 公認会計士
顧問(1名)			
顧問	非常勤	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長
名誉顧問(5名)			
名誉顧問	非常勤	石毛 直道	国立民族学博物館名誉教授・元館長
名誉顧問	非常勤	今関 博	元カルピス株式会社取締役副社長
名誉顧問	非常勤	上野川修一	東京大学名誉教授
名誉顧問	非常勤	小林 公生	元カルピス株式会社取締役社長・会長
名誉顧問	非常勤	間野 英二	龍谷大学客員教授 京都大学名誉教授 日本学士院会員

(付表6)

学術委員 名簿

(2025年12月31日現在) 敬称略

職名	氏名	現職
自然科学部門 (9名)		
学術委員長	清水 誠	東京大学名誉教授
学術委員	阿部 啓子	東京大学名誉教授
学術委員	石見 佳子	東京農業大学総合研究所参与・客員教授
学術委員	佐藤隆一郎	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 東京大学名誉教授
学術委員	曾根 博仁	新潟大学医学部・大学院医歯学総合研究科教授
学術委員	難波 成任	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 東京大学名誉教授
学術委員	西山 千春	東京理科大学先進工学部教授
学術委員	穂苅 量太	防衛医科大学校内科学教授
学術委員	山本 直之	順天堂大学大学院医学研究科特任教授

人文科学部門 (8名)

学術委員長	山室 信一	京都大学名誉教授
学術委員	赤松 明彦	京都大学名誉教授
学術委員	磯前 順一	国際日本文化研究センター教授
学術委員	宇山 智彦	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授
学術委員	岸本 美緒	お茶の水女子大学名誉教授
学術委員	小長谷有紀	国立民族学博物館名誉教授
学術委員	佐藤 仁	東京大学東洋文化研究所教授
学術委員	月脚 達彦	東京大学大学院総合文化研究科教授

特定研究助成部門 (3名)

学術委員長	味埜 俊	東京大学名誉教授
学術委員	秋津 元輝	明治国際医療大学教授 京都大学名誉教授
学術委員	熊谷日登美	日本大学生物資源科学部特任教授

資産管理委員 名簿

(2025年12月31日現在) 敬称略

職名	氏名	現職
資産管理委員長 (理事)	齋藤 芳男	元カルピス株式会社常務執行役員
資産管理委員	佐藤 幹彦	元カルピス株式会社理事財務部長
資産管理委員	山田 和久	元カルピス株式会社健康・機能性食品事業部部長
資産管理委員 (理事)	山本 匠	元パンピー食品株式会社取締役社長
資産管理委員	青木恵美子	税理士法人出塚会計事務所 税理士
資産管理委員 (理事)	山田 誠	公益財団法人三島海雲記念財団常務理事
アドバイザー	柏原 延行	丸三証券株式会社常務執行役員 投資信託部長 チーフ・グローバルストラテジスト

附 属 明 細 書

1. 2025 年度事業報告の明細

- 1 2025 年度事業報告並びに
- 2 業務及び職務の執行状況において記載している。